

団体名 劇団千年王國

1 団体の今後の活動予定

平成23年5月に、韓国・光州で行なわれる「2011光州平和演劇祭」に急遽参加する事が決まりました。作品は「贗作者」。昨年、一昨年と公演を続けてきた作品です。

この作品は、劇団千年王國が平成14年に初演した作品を、新演出で平成21年に再演いたしました。初演との違いは、やはり稽古場を持った事により、資料集め、時代背景・人物設定へのアプローチ、小道具制作等に腰を据えて挑めた成果ではないかと考えております。

また、初の海外公演により、日本の北海道札幌市で創作された作品を発表してまいります。

7月には美唄・釧路で「イザナキとイザナミ」公演を予定しております。普段は東京から劇団を招聘して公演を行われるところが、当劇団に打診があり、企画進行中です。

演劇関係者に文化芸術の東京一極集中が懸念される中、札幌で活動している劇団が、札幌で創作した作品を他都市で公演出来ることにやりがいを感じます。

9月には、平成21年2月以来となる、代表 橋口幸絵書き下ろしの新作公演、11月には、以前より何度もオファーのあった、北海道演劇財団企画運営の札幌サンピアザ劇場「プレミアムステージ」に参加予定。

2 平成23年度の活動における目標等

劇団として、常用の稽古場を持ったのは平成19年（2007年）でした。最初はなんの当てもなく借りはじめたのですが、そこで創られて行く作品達は、日本演出者協会、遊戯祭、札幌劇場祭（TGR）で賞をいただける作品に育って行きました。

近年は札幌市に補助を頂きながら劇団運営し、作品づくりに励んでおりますが、いずれは自分たちのみで運営出来るよう計画的な活動を続けて行きたいと考えております。